

平成 22 年度当初予算 マニフェストに掲げる項目ごとの主な事業概要

1 安定した職場の確保 (684,276 千円)

~市内の雇用を増やし、定住人口を増やす

(主な事業)

(1)企業誘致

新 民地の活用調査 5,387 千円 (内示資料 p28)

- ・ 工場団地への投資リスクを軽減し、立地企業の要望に応じた用地を提供するための民間所有地の活用調査

企業立地奨励費 111,000 千円 (内示資料 p29)

- ・ 小塩辻工場団地をはじめ、市内に工場等の新增設を行った企業に対する立地助成費

(2)今がんばっている企業への補助・援助

新 トライアル雇用常用転換奨励金 1,400 千円 (内示資料 p25)

- ・ 国が実施する「トライアル雇用奨励金事業」を活用し、試行雇用(トライアル雇用)した求職者を、国の事業終了後引き続き常用雇用した事業主に対し奨励金(雇用者 1 人につき 5 万円)を支給

新 産業人材育成基金活用事業 4,200 千円 (内示資料 p26)

- ・ 平成 21 年度に新設する「産業人材育成基金」を活用し、市内産業界における人材育成を実施

高校生人材育成事業補助金 1,800 千円

産業人材育成事業補助金 1,800 千円

- ・ 産業界と連携し、高校生を対象とした国家技能検定の取得や社会人を対象とした研修会、講演会、技術指導会等の開催を支援

伝統工芸等担い手育成事業 600 千円

- ・ 伝統工芸等の若手従事者のグループが販路拡大のため県外で行う展示会等の開催を支援

中小企業倒産防止共済加入促進事業 3,300 千円

- ・ 倒産防止共済制度の加入を促進し、連鎖倒産の防止を図るため、中小企業倒産防止共済に新規に加入した市内中小企業に対し、掛金の一部を助成

緊急経営安定支援策利子補給事業 37,450 千円 (内示資料 p27)

- ・ 県の経営安定支援融資制度等を利用した事業者に対し、利息の一部を補助

農業用機械整備への助成 84,527 千円 (内示資料 p31)

- ・ 農業生産の省力化及び農産物の品質向上を図るため、大豆生産拡大機械や着色粒米の選別機の購入に助成

(3)加賀ブランド(温泉・伝統工芸・農林水産物)の確立

各温泉地のブランド化支援 24,000 千円

- ・ 山代、片山津、山中の各温泉地の観光協会が取り組む観光地ブランド化に向けたソフト事業(情報発信、イベント、賑わいづくり等)に対し、県とともに支援

創業・新商品開発支援事業 3,700 千円

- ・ 新商品の開発や創業にかかる費用の助成及び県の制度融資を活用する場合の信用保証料を助成

九谷焼・山中漆器振興助成費 12,415 千円

- ・ 伝統産業の振興事業、販路開拓等の助成及び後継者の育成

加賀特産野菜・食育の推進 2,570 千円

- ・ 加賀市特産野菜推進協議会(仮称)準備会の設立、加賀あぐり塾(加賀市独自野菜の生産及び消費拡大)、食育推進普及(郷土料理、伝統料理教室の開催等)

ふるさと雇用再生特別基金事業(15名雇用) 37,861 千円 (内示資料 p12)

- ・ 地域の実情や創意工夫に基づく雇用機会の創出

緊急雇用創出事業(50名雇用) 78,296 千円 (内示資料 p13)

- ・ 離職を余儀なくされた非正規労働者等の一時的な雇用機会の確保

(4)その他

産業支援・温泉地の活性化等 278,170 千円

2 個性と統一のとれた地域の実現 (1,294,114 千円)

～地域の個性を活かしながら、加賀市としての統一のとれた発展を目指す。

(主な事業)

(1)個性が発揮できる地域資源(温泉街・自然・遊歩道等)の整備育成

大聖寺十万石城下町史跡再生事業 1,362 千円 (内示資料 p46)

- ・ 大聖寺十万石の核となっていた大聖寺藩邸屋敷周辺及び錦城山等を史跡として整備し、歴史的資産としての価値を高め、学習及び観光資源として活用

片山津地区まちづくり交付金整備 710,000 千円 (内示資料 p40)

- ・ 柴山湯と一体となった温泉街中心部の回遊拠点(総湯・親水広場・湖畔遊歩道)及び周辺道路整備(温泉街通り線・片山津中央線)等により温泉街としての魅力を向上

橋立丘陵地(自然園)整備事業 293,900 千円 (内示資料 p38)

- ・ 丘陵地の自然を活かした自然園(園路・施設等)及び災害時の緊急避難道路(市道 A-434号線)の整備

景観整備・歴史的建造物群の保存 30,397 千円

- ・ 美しい景観づくりや歴史的建造物群の保存のための、景観保存地区(7地区)及び伝統的建造物群保存地区(1地区)における建物の外観の整備等に対する助成

町屋の再生整備 7,017 千円

- ・ 城下町の面影を残す町並みを保存するための、大聖寺地区に残る町屋の再生・整備に対する助成

新 尼御前岬園地再整備 6,900 千円 (内示資料 p34)

- ・ 昨年7月に陥没が発生した尼御前岬園地の再整備
〔 H22 陥没穴周辺の安全調査及び整備方針の決定
H23 陥没穴の安全対策及び園地内遊歩道の整備 〕

(2)長期構想を見直し地域的に統一のとれた施策の実施

新 都市計画基礎調査 15,000 千円 (内示資料 p39)

- ・ 都市計画に関し、人口、住宅、産業、土地利用等の基礎的な事項を調査し、今後の用途地域の決定、道路・公園等の配置の策定の基礎とする 石川県との共同調査

新 景観計画の策定 4,876 千円

- ・ 市内の良好な景観の形成に向けて、景観法に基づき、実効性のある景観行政を行うための、「総合的な景観形成に関する基本方針」の策定

(3)循環の公共交通を再構築

地域交通対策事業 26,946 千円 (内示資料 p18)

- 新 路線バス運行費負担によるバス路線の維持、充実
温泉山中線、山代大聖寺線、吉崎線
 - 新 定時定路線型乗合タクシーの実験運行
加賀温泉バス路線廃止地域への導入を目指す
 - 新 NPO による有償運送の実験
公共交通空白地域での導入の働きかけ
- } 等を複合的に実施

(4)その他

まちづくり・文化振興等 197,716 千円

3 安心して暮らせる社会の実現 (9,624,540 千円)

(主な事業)

(1)すべての保育園で未満児保育・延長保育を実施

公立保育園における3歳未満児保育・延長保育 191,489 千円

私立保育園における3歳未満児の保育実施費 947,960 千円

私立保育園における延長保育促進補助金 81,150 千円

新加賀市民病院における病児・病後児保育の実施 (6月補正予定)

(2)救急対応含め、市内で治療ができる医療体制

新高規格救急車の大聖寺分署への配置(H22.10月～) (内示資料 p43)

- ・ 大聖寺エリアの救急現場到着時間を平均約2分短縮

在宅当番医制実施費 3,351 千円

- ・ 市医師会と連携した日曜日・祝日の医療体制の確保

加賀市民病院事業への繰出・出資金 724,139 千円

山中温泉医療センター事業への繰出・出資金 235,117 千円

- ・ 病床数に応じた経費、救急医療の確保、看護師養成所、病院事業債の返済等に要する経費に対して繰出し

(3)ゼロ歳～中学卒業医療費を無料に

こども医療費助成の対象拡大 88,244 千円 (内示資料 p22)

新うち助成対象拡大分 20,244 千円

- ・ 通院助成の対象を小中学生まで拡大し、ゼロ歳から中学卒業までの入院・通院費に対して助成する。

1か月分の自己負担額1,000円を超えた分を助成申請に基づき償還払い

(10月診療分から開始として5か月分の予算措置。通年ベースでは約48,600千円の事業費となる)

(4)その他

子育て、教育、医療、福祉、環境、生活基盤

他会計(国民健康保険、介護保険等)への繰出金等 7,353,090 千円

4 健全な財政運営、透明度の高い市政の確立 (82,770 千円)

(主な事業)

(1)加賀市「市民主役」条例(仮称)を創設

新議会における調査研究 1,000 千円

・市民主体の条例制定に向けた調査及び研究

企画調査研究の強化 1,247 千円

・職員の企画立案力を高め、新しい施策課題に対応できる体制の構築

(2)その他

広報広聴費・基金への積立金等 80,523 千円